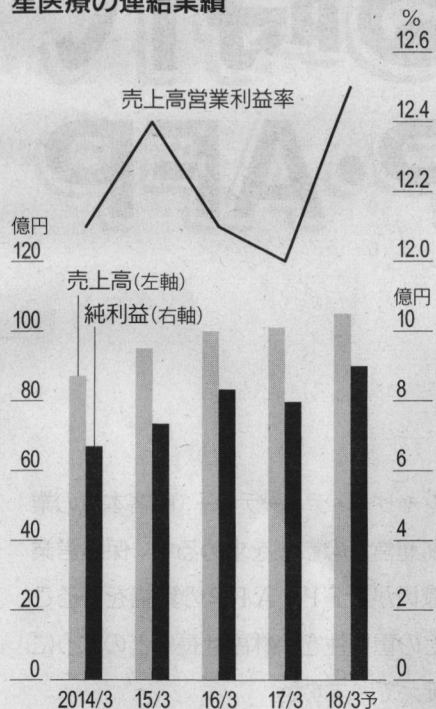


## 銘柄ウォッチ

トップが語る

## 星医療の連結業績



## 星医療酸器 (7634)

## 在宅酸素療法の市場開拓

## 星幸男社長

医療用ガスを手掛ける。2018年3月期の連結純利益は前期比13%増の9億円と最高益を更新する見通しだ。酸素を仕入れて医療機関に販売する事業が中心だったが、近年強化してきた在宅患者向けが収益に大きく貢献する。

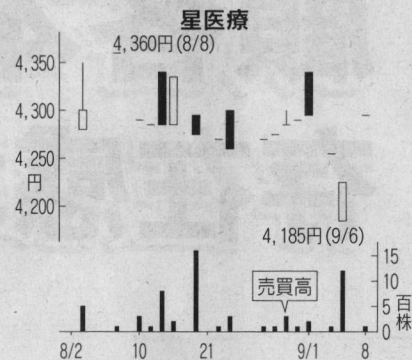
医療費削減などを背景に入院期間は短くなる傾向で、在宅酸素療法の裾野が広がっている。自宅では酸素濃縮器、外出の際には酸素ボンベカートを使うことで、患者の生活の質(QOL)が向上する。

高齢化もあって在宅酸素療法の適応患者は年々増加。国内全体では16万人



に上るが、まだこの1割も取れていない。当社は装置の保守やボンベ交換などを外注せず、社員が患者宅に直接向く体制にこだわっている。同療法を処方する医師に対し患者の安心感につながる強みを訴え、都市部の市場開拓を進める。

製品の高付加価値化にも取り組んでいる。酸素濃縮器の新サービスは専用のタブレット(多機能携帯端末)と組み合わせて、療養日誌やリハビリ記録をクラウド上で管理できる。高齢者患者を介護するスマートフォン世代のニーズを掘り起こしていく。



今後は経営基盤を広げるためM&A(合併・買収)を検討する。介護施設や地方の酸素会社など親和性の高い事業を買収したい。高齢者だけでなく、中高年に多い睡眠時無呼吸症候群向けなど成長余地はまだ大きい。株主還元は年間配当40円をベースに安定配当を続ける方針だ。

(聞き手は阿部真也)